

あこう屋(のたより)

10月



発行責任者

猪股 英介

【校長室より】

「つれづれなるままに」

10月も終わりを迎えようとしています。つい先日、9月号を書いたような気がしていましたが、時の早さを感じる今日この頃です。今後、新型コロナウイルスと季節風インフルエンザの同時流行が懸念されています。引き続き必要な感染予防対策の徹底に努めてほしいと思います。

さて、毎日の新聞やテレビでは様々な報道がなされていますが、その中から最近気になった出来事を3つ紹介します。

1つめは、9月23日、長崎と武雄温泉との間を結ぶ西九州新幹線が開通したことです。先日諫早に出張した際、偶然諫早駅に停車しているのをみかけました。白地に紅のボディ、かもめの文字がひととき目立つ外観は、迫力満点で、思わずスマホで激写しました。これを起爆剤として、多くの方が長崎に足を運んでくれることを期待するところです。

2つめは、10月3日からNHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」の放送がスタートしました。地元五島が舞台の一つになるということで、大いに盛り上がっています。大学時代の友人からは、放送開始後、「今度五島に遊びに行くのでロケ地の案内よろしく。」とのメールがありました。きっと、この朝ドラを通して、青く透き通る五島の海や豊富な食材、そして人情の豊かさや五島弁が全国区としてさらに舞い上がっていくことを大いに期待するところです。

3つめは、10月4日、プロ野球セリーグで2連覇を果たしたヤクルトスワローズの村上宗隆選手が56本めの本塁打を放ち、日本人選手のシーズン最多を更新しました。最終戦の最後の席で偉業達成という劇的すぎるドラマまで添えて。さらに、史上最年少で打率、本塁打、打点の打撃タイトルを独占する三冠王も獲得しました。22歳にして伝説の世界へ歩み始めたかのようです。それに引き換え、私が押している巨人は今年も優勝を逃しました。唯一の救いは、今年のドラフト選択会議で、高校生NO.1スラッガー浅野選手（高松商）の交渉権を阪神との抽選の末、獲得したことです。その後の原監督の今年一番の会心のガッツポーズ、来年こそは優勝を期待するところです。

話は変わりますが、現在、本校図書館入り口に、生徒が半紙に書いてくれた美しい文字が並んでいます。「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「読書の秋」の三枚です。私に当てはめてみると、9月から週3日程度、健康維持のためにウォーキングに取り組んでいます。効果の方はまだ出ていませんが、まずは12月までを目標に頑張ろうと思います。食欲は、秋に限らず年間を通して旺盛です。美味しい物の多い五島では、食の誘惑に負け、つい食べ過ぎてしまうこともしばしばです。五島に赴任してから本を読む機会が増えました。というのも、福江行きの船を待つ間、大型商業施設の中にある書店に立ち寄り、本を購入して船の中で読むというのが習慣となりました。最近読んだ本は「起きたことは笑うしかない！」です。著者の松倉久幸氏は、ビートたけしさんや荻本欽一さんなど多くの芸人を育てながら、現在も東京・浅草で、芸能文化の発展のために活動している方です。特に印象的だったのは、「笑いは、辛いことも乗り越えられる人間にとって生きる活力である。」という言葉です。10月26日、本校の芸術鑑賞会は「落語」でした。落語家さんの表情やしぐさ、手ぬぐいと扇子を巧みに使った生で聞く落語に、聴衆は皆笑いの世界に引き込まれ、会場は大いに盛り上がりました。まさに「笑いは明日からの活力になる」ことを実感した芸術の秋にふさわしい最高の1日となりました。

3学年普通科PTAおよび大学入学共通テスト100日前集

10月6日（木）に3学年普通科PTAおよび大学入学共通テスト100日前集会が行われました。平日にもかかわらず数多くの保護者の方々に来て頂き、本校の教育活動についてのご関心の高さを改めて感じることができました。大変感謝しております。共通テスト100日前集会での保護者の方の代表挨拶では、日頃から生徒達を見守っている家族としての愛情が感じられ、会場全体が感動に包まれました。最後に、生徒代表として、2組の山下紗奈さん、4組の高瀬貴実矢さんが力強く決意表明を述べてくれました。100日間をどう捉えるか、できることは多くあります。計画を立てながら、生徒・保護者・教員が三位一体となって残された受験勉強の日々を頑張っていきましょう。

衛生看護科戴帽式

10月12日（水）メモリアルホールにて、第49回戴帽式を実施しました。

本年度も、新型コロナウイルス感染予防のため出席者を制限させていただきましたが、来賓及び家族に見守られながら、ナースキャップとハンカチーフをいただき、ナイチンゲールの「命の灯」を引き継いで、翌日からの病院実習に向け決意を新たにしました。

- 一 私たちは、医療の現場に立ち、患者様の命を預かるものとして自覚と責任ある行動をし、思いやりの姿勢と笑顔で患者様に寄り添います。
- 一 私たちは、学ばせていただくことに感謝し、素直な心で多くのことを学び愛と誠意に溢れる看護を追究します。
- 一 私たちは、困難に直面しても仲間と協力し、互いに励まし助け合いながら皆一丸となり、精進していきます。
- 一 これから出会うたくさんの患者様、実習指導して下さる五島中央病院の皆様、これまで深い愛情でご指導くださった先生方、いつも私たちのそばで見守って支えてくれる家族、そして、今日まで同じ目標に向かい共に切磋琢磨してきた仲間への感謝の気持ちを忘れず、二十四名全員で一年間の実習に精一杯取り組むことをここに誓います。

この誓いを胸に、これからの実習を通して患者様の健やかな生活のために大きく成長していきたいと思えます。式にご参列いただきました来賓並びに保護者の皆様には心よりお礼申し上げます。



Vファーレン長崎講演会

9月30日（金）に、V・ファーレン長崎所属のサッカー元日本代表の玉田圭司さんが本校に来校され、柔道部・剣道部・陸上部・サッカー部の1・2年生に対して講演をしていただきました。玉田さんのサッカー人生や挫折時の気持ちの立て直し方などについて講話をいただき、多くの生徒が刺激を受けていました。また、生徒からも多くの質問が飛び出し、大変有意義な講演会になりました。講演会後には、中央公園陸上競技場にてサッカー教室を開催していただき、玉田さんの華麗なテクニックや豪快なシュートに魅了されました。玉田圭司さん、V・ファーレン長崎の関係者の皆様、貴重なお時間をありがとうございました。



消費者教育

10月17日（月）に消費者教育授業支援が行われました。長崎県消費生活センターから外部講師をお招きし、今年度から施行された「民法の一部を改正する法律」による成年年齢の引き下げを踏まえ、若者が消費生活を営んでいくうえで適切な判断を行えるようお話をいただきました。授業内容は主に「SDGs」と「エシカル消費」について行われ、“持続可能な社会にするために私たちにできることは何か”を考えまし



た。食品ロスや海洋プラスチックごみなどにも目を向け、身近なところから課題を見つけることができ、一人一人が社会を作る消費者である自覚を持つことができたのではないかと思います。

交通講話

10月18日（火）に、五島警察署の坂井健一郎様をお招きして、交通講話を行いました。講話では、自転車を運転する上で気を付けなければならないルールや、危険な自転車の走行で招く、予想外の危険性について学びました。生徒の中には、自転車通学生も多くいます。携帯電話を使用しながら友人と並走することで、歩行者に気付かずぶつかってしまう事故やルールを無視した危険な運転の末、歩行者を死亡させた事故など、実際に起こしうる事例の動画を視聴しました。自転車は便利であると同時に自分たちの普段の生活に潜む危険性について深く考えることができたようです。この講話で学んだことを活かし、被害者にも加害者にもならないよう、これからの学校生活を送ってほしいものです。